

訪問リハビリテーション事業所と訪問看護ステーションの介入効果の検討 ～当法人における訪問リハビリテーションとリハビリテーション職による 訪問看護の比較～

1. 研究の対象

2014年7月以降に当院回復期リハ病棟退院後、当院訪問リハ、当院併設の訪問看護ステーションからのリハ職による訪問看護を開始し、2021年9月までに終了した脳血管疾患患者

2. 研究目的・方法

居宅におけるリハビリテーションは訪問リハとリハ職による訪問看護が存在します。前者は機能回復や自立支援が目的とされ、後者は看護業務の一環として位置づけられ、重度化予防が目的とされています。しかし、両者の機能の違いに関して、詳細な分析は行われておらず、制度上においても十分な機能分化がなされているとは言えません。

今回、当院回復期リハ病棟退院後に訪問リハを利用した患者とリハ職による訪問看護を利用した患者の介入効果について明らかにし、訪問リハとリハ職による訪問看護の機能分化を図るための一助とすることをめざしていきます。

美原記念病院訪問リハビリテーション課、訪問看護ステーショングラーチアリハビリ部門では、訪問リハビリの開始時や終了時などに訪問リハビリ担当者が身体機能評価や生活状況の評価を行っています。今回の調査には、このデータを用います。方法は、訪問リハ、訪問看護ステーショングラーチアのリハ職による訪問看護それぞれにおけるリハ開始時と終了時2時点のFunctional Independence Measure (FIM)の比較を行います。さらに、訪問リハとリハ職による訪問看護の違いについて、性別、年齢、リハ開始までの期間、単位数、訪問頻度、利用期間、FIMの計7項目について比較を行います。

これらの研究は、2021年12月～2024年3月の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報、生活状況の情報 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 リハビリテーション部

研究責任者 野本正仁

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L : 0270-27-8813 F A X : 0270-24-3359